

「旅はリハビリ」観光スポットをめぐって写真集を出版

町身体障害者協会の会長を務める大城清さんが、自身のリハビリを兼ねて県内41市町村をめぐった軌跡を写真集にまとめ、「リハビリ巡礼の旅」を出版しました。大城さんは10年前に患った脳卒中の影響で左半身に障がいがあり、旅を通じて「楽しいリハビリ」に取り組んできました。本では、旅先で撮影した約230ヶ所の写真に、大城さんが情報や感想を書き記しています。完成した写真集を手にも、大城さんは「大東島へ行ったとき、上陸するために救命胴衣を付けて、船から小船に飛び降りキャッチしてもらった。旅で多くのことを経験でき、よかった。」と思い出を語りました。

「リハビリ巡礼の旅」は、町立図書館にも置かれており閲覧することができます。本書のお問合せは、大城清さん（☎070-5816-9349）まで。



本の完成を上間明町長に報告する大城清さん（右から2番目）

西原産の伝統的島野菜をPR —おきなわ花と食のフェスティバル2012—

沖縄の伝統的島野菜の生産や加工品づくりに取り組んでいる西原町耕作放棄地解消対策協議会（城間正一会長）が、2月4日と5日の2日間、奥武山総合運動公園で開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2012」に参加し、活動をアピールしました。

同協議会が出店したブースでは、栽培したシマナーが練りこまれたそばやサターアングー、ニガナのジュースやてんぷらが並べられました。青々としたニガナジュースを試飲した来場者は「思ったよりずっと飲みやすく、おいしい」と驚きの表情を浮かべていました。



まちの話題

地域を散策、歴史に触れる —棚原邑廻い—

地域を散策しながら土地の歴史や風土を学ぶ「棚原邑廻い（むらみぐい）」（ニシバル歴史の会・町教育委員会主催）が1月21日、棚原地区で開催されました。イベントには棚原に住む住人など約120名が参加、ガイドの解説を聞きながら地域を散策しました。

主催したニシバル歴史の会では、県対米請求権事業協会の助成を活用してパンフレットを作成。棚原地区には昔の生活がうかがえるウーフルや石畳道、ミルク神が祭られるノロ殿内などの歴史的な名残が多く残っており、それらをパンフレットで紹介しながら、参加者に地域の歴史を説明しました。

会長の盛島薫純さんは「棚原で開催した実績を生かして、他の地域でも邑廻いを行って、イベントを広げていきたい」とこれからの展望を語りました。



車椅子も乗れる！ リフト付車輛を購入

高齢者福祉事業の一環として実施している「生きがい活動支援通所事業」の送迎車が老朽化したこととともない、町が「石油貯蓄施設立地対策等補助金」で車輛を購入しました。

同事業は、介護保険の対象外の方に週に1度のデイサービスを提供し、引きこもり防止や社会参加の促進を図るもので、通所介護事業所の守礼の里が受託して実施しているものです。2月1日にお披露目された車輛は、車椅子に



座りながら乗車できるスペースが2台分備えられており、デイサービス利用者の送迎に活用されます。

功績を祝福！町功労者表彰式典及び祝賀会を開催

本町の各種事業の振興・発展に顕著な功績を残した方を表彰する「平成23年度西原町功労者表彰式典」が1月27日、町中央公民館で開催され、約200名の町民や関係者が出席し、表彰者を祝福しました。表彰式典後には引き続き祝賀会が行われ、町功労者とあわせて叙勲受章者を招き、盛大な祝賀会となりました。今年度の町功労者、叙勲受章者は次のとおりです。（敬称略）

—町功労者表彰—

【特別表彰】

小波津 政文（こはつせいぶん）西原町字小波津212番地

昭和62年10月1日から平成23年9月30日まで8期24年間、農業委員として尽力した。

【有功者表彰】

澤岬 正孝（たくせいこう）西原町字幸地21番地

平成11年10月1日から平成23年9月30日まで4期12年間、農業委員として尽力した。

新川 喜則（あらかわよしのり）西原町字小那覇168番地

平成11年10月1日から平成23年9月30日まで4期12年間、農業委員として尽力した。

【功労者表彰】

糸数 善昭（いとかずよしあき）西原町字棚原197番地の1

町文化協会設立と同時に古典音楽部会員として入会し、部員の融和・研修等活動の活性化に尽力。また町文化協会副会長を6年間務め、西原町文化協会の統括指導に尽力した。

【善行者（団体）表彰】

西原町の人材育成のために役立てて欲しいと、町に対し多額の寄付を行った。

・金秀グループ（かねひでグループ） 会長 呉屋守将（ごやもりまさ）那覇市旭町112番地の1

・新中糖産業株式会社（しんちゅうとうさんぎょうかぶしきがいしゃ）代表取締役社長 福里重盛（ふくごとしげもり）西原町字嘉手刈117番地の2

—叙勲受章者—

「春の叙勲」

安里 昌男（あさとまさお）西原町字与那城317番地の1
（瑞宝小綬章）教育功労

県内各高校で教職等に従事する。県立開邦高等学校校長で定年退職した後、NPO法人「西原町人づくり支援の会」の理事、沖縄キリスト教学院大学、同短期大学常任理事などを歴任。現在は町社会福祉協議会評議員、町立図書館協議会委員などで活躍している。

野里 耕正（のさとうせい）西原町字徳佐田165番地の4
（瑞宝双光章） 沖縄開発行政事務功労

昭和40年に琉球政府に入庁。昭和47年に沖縄開発庁沖縄総合事務局に身分が移行され、国道の整備事業等に従事し、沖縄総合事務局北部国道事務



- 所長で定年退職。退職後は、沖縄県建設業協会の理事を歴任している。
- ・嘉彌真 國男（かやまくにお） 西原町字翁長920番地の5
（瑞宝単光章） 矯正業務功労
- ・昭和42年から平成13年3月まで沖縄少年院に勤務。非行を犯した少年の更生に関して、日本矯正発表会で発表した。定年後は植物観察を趣味に地域で活躍している。
- ・亀山 朝孝（かめやまあさたか）西原町字徳佐田172番地の4
（瑞宝双光章） 海上保安功労
- ・昭和47年に第十一管区海上保安本部に入庁。34年間海上保安業務に従事した。危険を伴う海上では人命救助を最優先に職務を全うし、定年後は障害者福祉施設で障害者の支援員として貢献している。
- ・金城 良勝（きんじょうよしかつ）西原町字小波津803番地の63
（瑞宝双光章）警察功労
- ・昭和32年3月に琉球警察巡査を拝命。平成9年3月に勲奨退職する約40年間にわたって職務に精励し、公共の安全と治安の維持に貢献した。

「秋の叙勲」

- ・翁長 正昌（おながせいしょう）西原町字幸地138番地
（瑞宝双光章） 地方自治功労
- ・昭和25年に西原村役所の書記として採用。長年行政職に携わった。昭和48年西原村収入役に就任以来、4期16年にわたって業務を遂行。西原町全体の発展及び広域行政などに貢献した。

・新垣 佳宏（あらかきよしひろ）西原町字与那城265番地の2
（瑞宝双光章）警察功労

- ・昭和32年琉球警察巡査を拝命。平成2年に石川警察署長に赴任し、その後要職を経て、平成6年に沖縄県警視正に昇格。37年間の治安維持の警察業務に精励した。（県警察本部長賞7回、警察庁長官賞2回受賞）

・西原町坂田地域通り会（にしはらちょうさかたちいきとおりかい）
会長 奥岡 道雄

平成9年から地域活性化事業の一環として県道38号線の歩道の植栽のごみ拾い、雑草取り、花木の植え付け、手入れ作業に取り組み、長期にわたる美化活動が高く評価された。

- ・比嘉 キヨ（ひがきよ）西原町字棚原288番地
- ・昭和58年より27年間、「お元気ですか事業（老人福祉事業・食事サービス事業）」の調理ボランティアや地域の一人暮らしの高齢者宅などに「一声運動」を展開。また、地域の高齢者の孤立防止に努めるなど地域友愛訪問活動者として活動してきた。